

## 2 報告の集計結果

### (1) 化学物質の取扱状況

条例第42条では、事業所における化学物質の取扱量（使用量及び製造量）、環境への排出量、下水道等への移動量について報告することになっています。これらの量を集計し、平成16年度の県域全体の化学物質の取扱状況を図で示すと図2のようになります。また、取扱量等の内訳は表2、年度ごとの排出量及び移動量の推移は表3のとおりです。

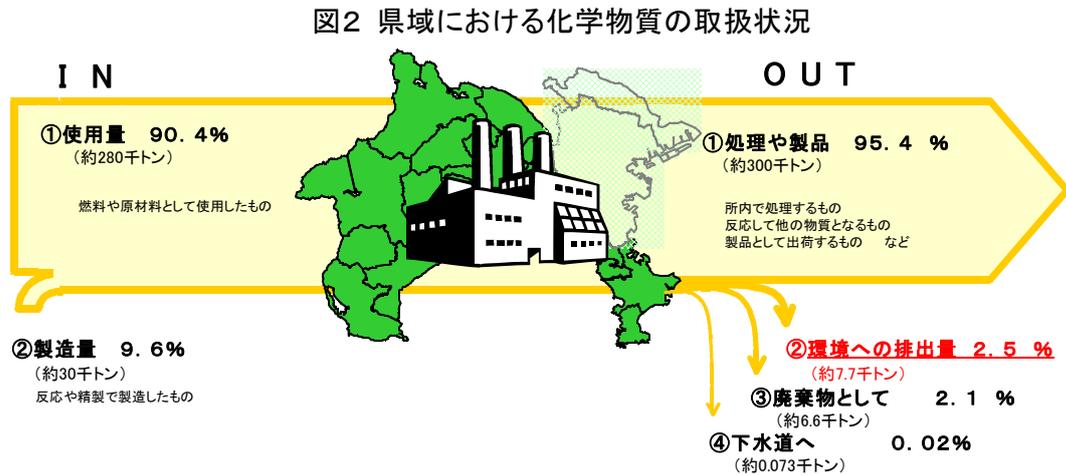


表2 事業所における化学物質の取扱量、排出量及び移動量等

取扱状況		量(t)	割合(%)
取扱量	使用量	283,602	90.4
	製造量	30,158	9.6
	計	313,760	100.0
排出量及び移動量等	環境への排出量	7,692	2.5
	下水道への移動量	73	0.02
	廃棄物としての移動量	6,642	2.1
	製品として出荷、事業所内処理等	299,354	95.4
	計	313,761	100.0

[参考] 年度ごとの排出量及び移動量<sup>※1</sup>の推移等

単位:t

	H13	H14	H15	H16	H17(目標)
排出量	8,330	7,487	8,279	7,692	7,283
移動量	7,004	7,287	6,779	6,715	6,635
計	15,334	14,774	15,058	14,407	13,918

※1 P R T R法届出データ

平成16年度P R T R届出データについては、県ホームページで公表しています。  
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/taikisuisitu/kagaku/prtr/data/h16data/index.html>

## (2) 化学物質の排出量

平成16年度の環境への化学物質の排出量は7,691.6tでした。平成17年度の排出量の削減目標は408.3tで、目標が達成されると平成17年度の排出量は7,283.3t<sup>\*1</sup>となり、平成16年度と比較して5.3%削減されます(表3、図3)。

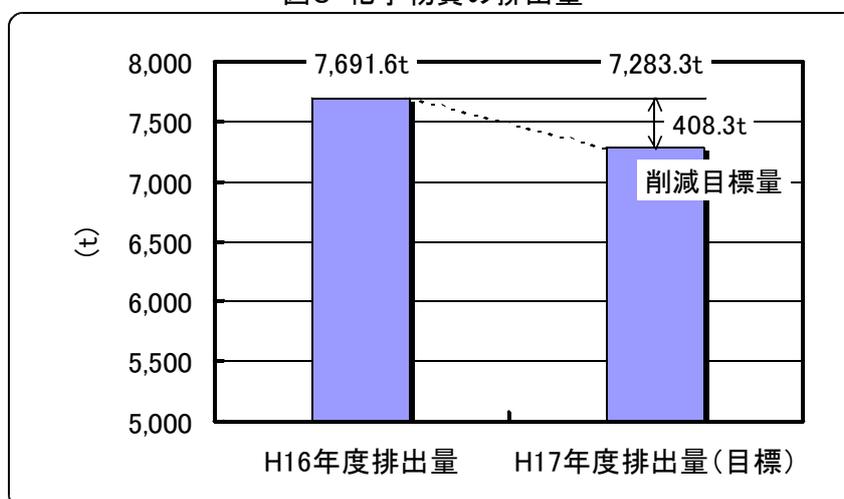
なお、排出削減の実績や目標の設定は、用途や業種等によって異なり、また、すでに十分な排出削減対策を実施済みで、それ以上の削減が困難な事業所もあるため、削減目標の大小だけで事業者の取組状況を評価することはできません。

表3 化学物質の排出量

H16年度排出量	H17年度排出量(目標) <sup>*2</sup>
7,691.6t	7,283.3t

※2 平成16年度排出量から削減目標を引いたもの。以下同じ。

図3 化学物質の排出量



### ア 物質別

物質別の排出量は、溶剤として使用されるトルエン、溶剤として使用されるほかガソリン中にも含まれるキシレン、金属部品の油の除去等に使用されるジクロロメタンの順に多く(表4、図4)、削減目標量が多い物質は、トルエン、溶剤として使用されるクロロメタン、ジクロロメタンでした(表5、図5)。

表4 物質別排出量

化学物質名	H16年度排出量 (t) [A]	H17年度排出量 (目標) (t)	H17年度排出削減目標量 (t) [B]	削減率 (%)
トルエン	3,367.5	3,053.7	313.8	9.3
キシレン	2,299.7	2,277.6	22.1	1.0
ジクロロメタン	677.2	653.7	23.5	3.5
エチルベンゼン	626.5	622.5	4.0	0.6
クロロメタン	101.4	76.4	25.0	24.6
上記以外	619.3	599.4	19.9	3.2
計	7,691.6	7,283.3	408.3	5.3

注) 平成17年度排出量(目標) = 平成16年度排出量 [A] - 平成17年度排出削減目標量 [B]

$$\text{削減率} = \frac{[B]}{[A]} \times 100 (\%) \text{ (以下同じ。)}$$

図4 物質別排出量

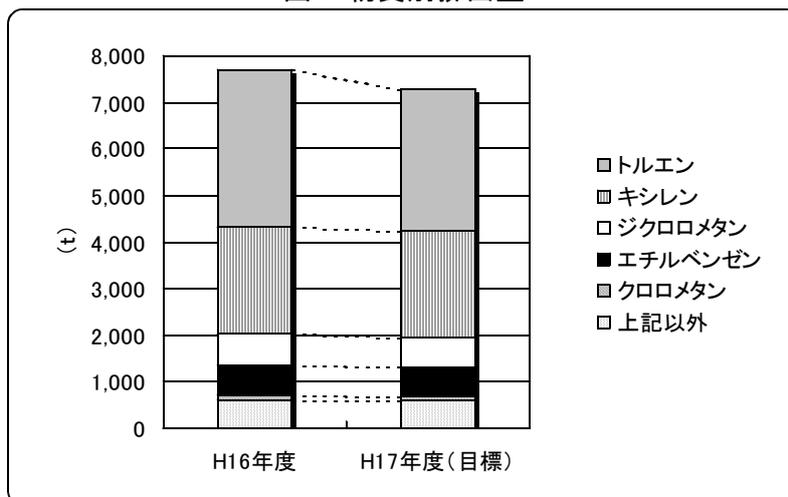
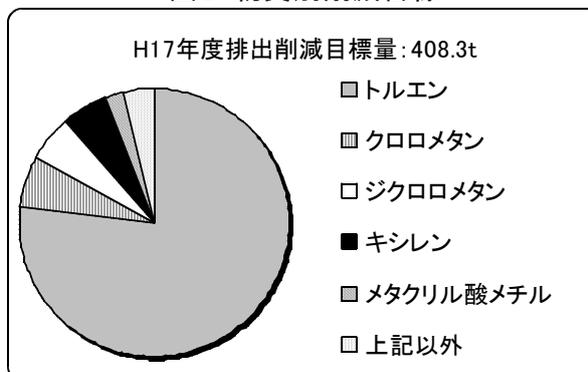


表5 物質別削減目標

化学物質名	H17年度排出削減目標量(t)
トルエン	313.8
クロロメタン	25.0
ジクロロメタン	23.5
キシレン	22.1
メタクリル酸メチル	8.7
上記以外	15.3
<b>計</b>	<b>408.3</b>

図5 物質別削減目標



イ 用途別

用途別の排出量は、「溶剤・塗料など」、「洗浄・界面活性剤など」、「燃料など」の順に多く(表6、図6)、削減目標量が多い用途は、「溶剤・塗料など」、「洗浄・界面活性剤など」、「ゴム・プラスチックなど」でした(表7、図7)。

表6 用途別排出量

用途名	H16年度排出量(t) [A]	H17年度排出量(目標)(t)	H17年度排出削減目標量(t) [B]	削減率(%)
溶剤・塗料など	5,641.3	5,318.2	323.1	5.7
洗浄・界面活性剤など	721.0	681.9	39.1	5.4
燃料など	526.1	524.7	1.4	0.3
ゴム・プラスチックなど	209.9	194.8	15.1	7.2
上記以外	593.2	563.7	29.5	5.0
<b>計</b>	<b>7,691.6</b>	<b>7,283.3</b>	<b>408.3</b>	<b>5.3</b>

図6 用途別排出量

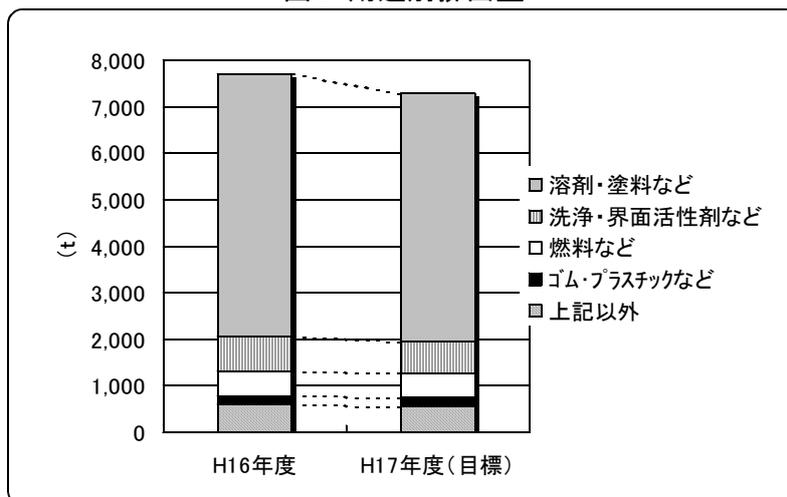
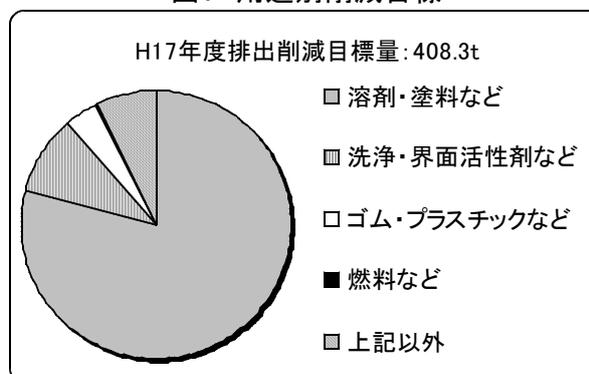


表7 用途別削減目標

化学物質名	H17年度排出削減目標量(t)
溶剤・塗料など	323.1
洗浄・界面活性剤など	39.1
ゴム・プラスチックなど	15.1
燃料など	1.4
上記以外	29.5
<b>計</b>	<b>408.3</b>

図7 用途別削減目標



ウ 業種別

業種別の排出量は、「輸送用機械器具製造業」、「ゴム製品製造業」、「化学工業」の順に多く（表8、図8）、削減目標量が多い業種は、「ゴム製品製造業」、「化学工業」、「出版・印刷・同関連産業」でした（表9、図9）。

表8 業種別排出量

業種名	H16年度排出量 (t) [A]	H17年度排出量 (目標) (t)	H17年度排出削減目標量 (t) [B]	削減率 (%)
輸送用機械器具製造業	3,507.3	3,489.9	17.4	0.5
ゴム製品製造業	1,109.6	837.0	272.5	24.6
化学工業	574.0	539.3	34.7	6.0
金属製品製造業	415.3	412.3	3.0	0.7
一般機械器具製造業	356.9	349.7	7.1	2.0
上記以外	1,728.6	1,655.0	73.6	4.3
<b>計</b>	<b>7,691.6</b>	<b>7,283.3</b>	<b>408.3</b>	<b>5.3</b>

図8 業種別排出量

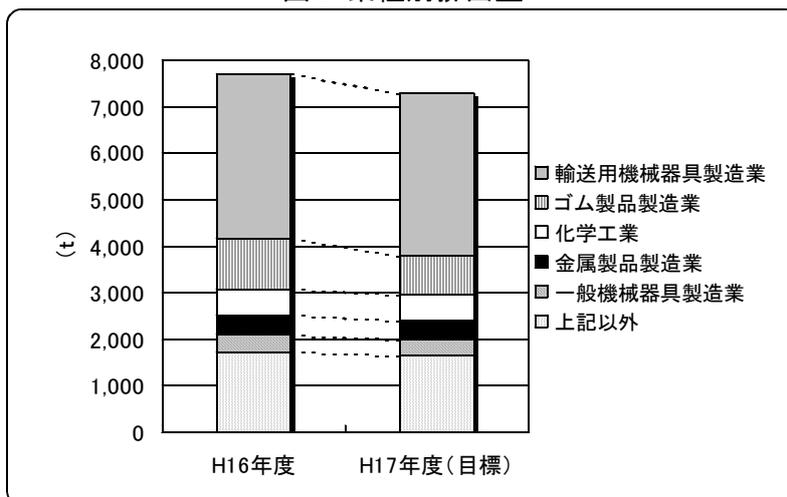
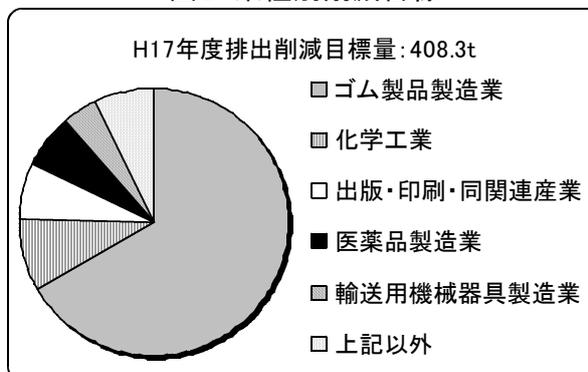


表9 業種別削減目標

業種名	H17年度排出削減目標量(t)
ゴム製品製造業	272.5
化学工業	34.7
出版・印刷・同関連産業	28.0
医薬品製造業	26.7
輸送用機械器具製造業	17.4
上記以外	29.0
<b>計</b>	<b>408.3</b>

図9 業種別削減目標



### (3) 化学物質の取扱量

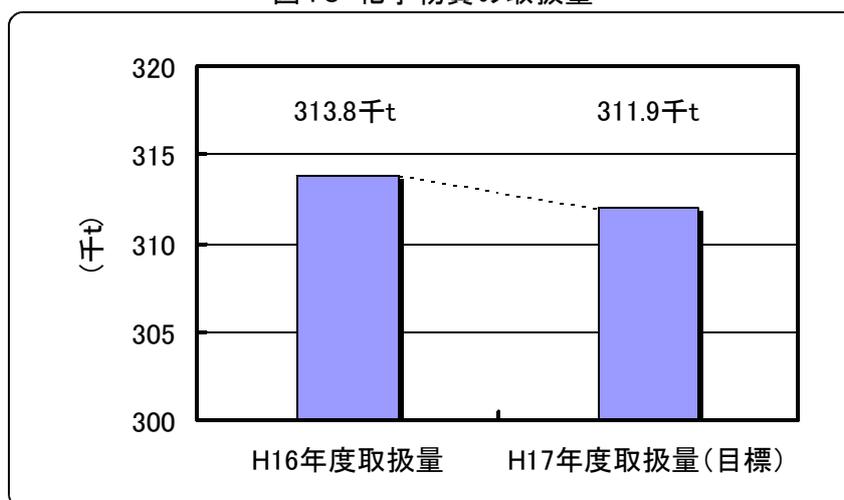
平成16年度の化学物質の取扱量は313,706tでした。平成17年度の取扱量の削減目標は1,831tで、目標が達成されると平成17年度の取扱量は311,929tとなり、平成16年度と比較して0.6%削減されます(表10、図10)。

表10 化学物質の取扱量

H16年度取扱量	H17年度取扱量(目標) <sup>*1</sup>
313,760t	311,929t

※1 平成16年度取扱量から削減目標を引いたもの。以下同じ。

図10 化学物質の取扱量



#### ア 物質別

物質別の取扱量は、トルエン、キシレン、バッテリーの原材料として使用される鉛の順に多く(表11、図11)、削減目標量が多い物質は、トルエン、合成原料として使用されるエチレンオキシド、樹脂安定剤等として使用される有機スズ化合物でした(表12、図12)。

表11 物質別取扱量

化学物質名	H16年度取扱量 (t) [A]	H17年度取扱量 (目標) (t)	H17年度取扱削減目標量 (t) [B]	削減率 (%)
トルエン	92,023	91,533	490	0.5
キシレン	54,027	53,958	69	0.1
鉛及びその化合物	25,012	24,984	28	0.1
エチルベンゼン	14,035	14,015	19	0.1
エチレンオキシド	13,002	12,572	430	3.3
上記以外	115,662	114,867	795	0.7
計	313,760	311,930	1,831	0.6

注) 平成17年度取扱量(目標) = 平成16年度取扱量 [A] - 平成17年度取扱削減目標量 [B]

$$\text{削減率} = \frac{[B]}{[A]} \times 100 (\%) \text{ (以下同じ。)}$$

図11 物質別取扱量

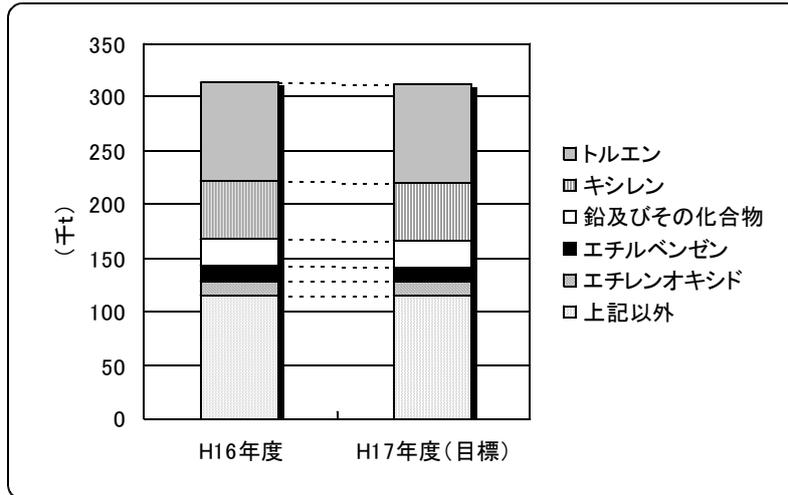
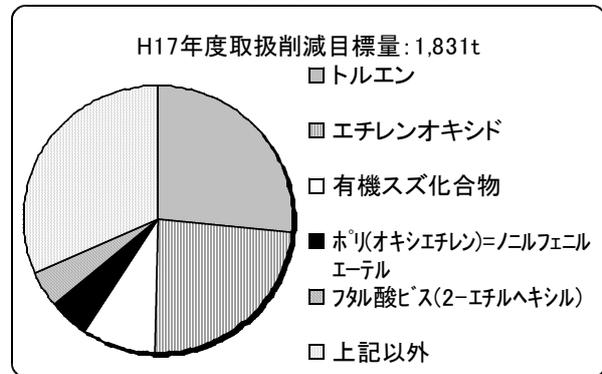


表12 物質別削減目標

化学物質名	H17年度取扱削減目標量(t)
トルエン	490
エチレンオキシド	430
有機スズ化合物	164
ホリ(オキシエチレン)=ノルフェニルエーテル	84
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	82
上記以外	581
<b>計</b>	<b>1,831</b>

図12 物質別削減目標



イ 用途別

用途別の取扱量は、「燃料など」、「溶剤・塗料など」、「ゴム・プラスチックなど」の順に多く（表13、図13）、削減目標量が多い用途は、「溶剤・塗料など」、「ゴム・プラスチックなど」、「洗浄・界面活性剤など」でした（表14、図14）。

表13 用途別取扱量

用途名	H16年度取扱量(t) [A]	H17年度取扱量(目標)(t)	H17年度取扱削減目標量(t) [B]	削減率(%)
燃料など	136,725	136,716	9	0.01
溶剤・塗料など	52,767	52,113	655	1.2
ゴム・プラスチックなど	30,130	29,983	147	0.5
合金・ガラスなど	14,595	14,583	12	0.1
上記以外	79,543	78,535	1,008	1.3
<b>計</b>	<b>313,760</b>	<b>311,930</b>	<b>1,831</b>	<b>0.6</b>

図13 用途別取扱量

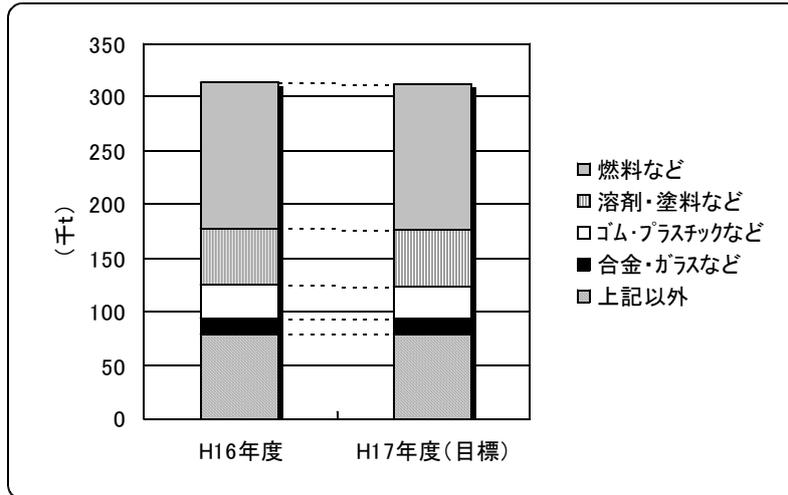
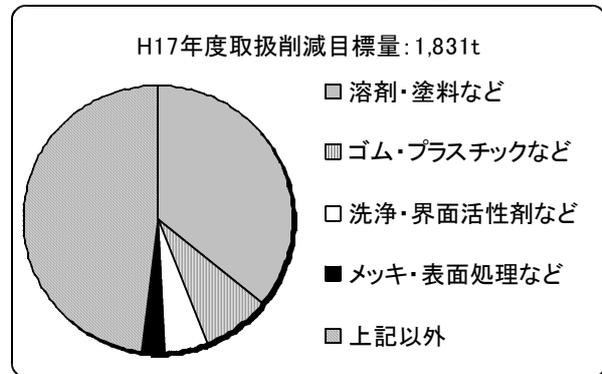


表14 用途別削減目標

化学物質名	H17年度取扱削減目標量 (t)
溶剤・塗料など	655
ゴム・プラスチックなど	147
洗浄・界面活性剤など	98
メッキ・表面処理など	51
上記以外	880
<b>計</b>	<b>1,831</b>

図14 用途別削減目標



ウ 業種別

業種別の取扱量は、燃料小売業、化学工業、電気機械器具製造業の順位に多く（表15、図15）、削減目標量が多い業種は、化学工業、ゴム製品製造業輸送用機械器具製造業（表16、図16）でした。

表15 業種別取扱量

業種名	H16年度取扱量 (t) [A]	H17年度取扱量 (目標) (t)	H17年度取扱削減目標量 (t) [B]	削減率 (%)
燃料小売業	134,632	134,632	0	0.0
化学工業	96,562	95,514	1,048	1.1
電気機械器具製造業	30,099	30,053	46	0.2
輸送用機械器具製造業	13,268	13,128	140	1.1
プラスチック製品製造業	9,543	9,532	11	0.1
上記以外	29,656	29,071	585	2.0
<b>計</b>	<b>313,760</b>	<b>311,930</b>	<b>1,831</b>	<b>0.6</b>

図15 業種別取扱量

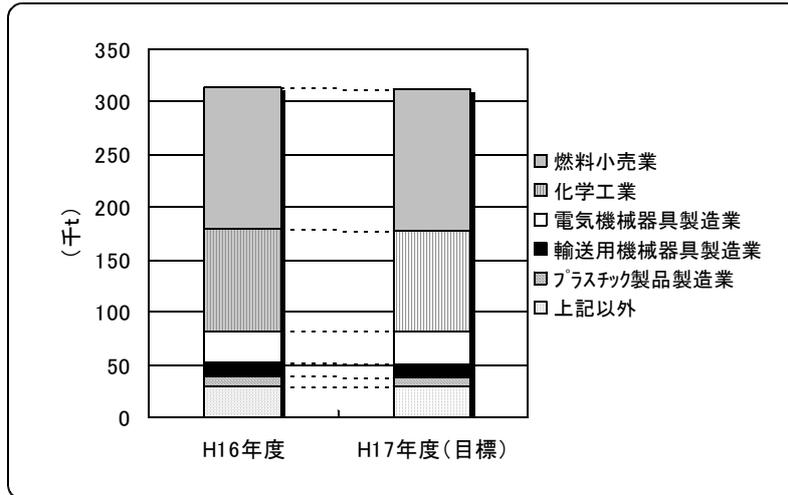
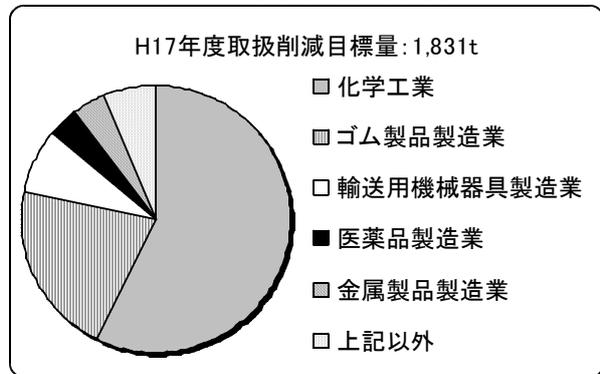


表16 業種別削減目標

業 種 名	H17年度取扱削減目標量(t)
化学工業	1,048
ゴム製品製造業	386
輸送用機械器具製造業	140
医薬品製造業	71
金属製品製造業	67
上記以外	119
<b>計</b>	<b>1,831</b>

図16 業種別削減目標



(4) 削減取組状況

取組内容別の排出量及び取扱量の削減目標は次のとおりです (表17、18)。

表17 取組内容別の排出量削減目標(t)

設備改善を含む使用工程の効率化(296t)	公害防止装置の設置・改善(35t)
使用量及び使用計画の見直し(26t)	低毒性の化学物質への代替え(17t)

表18 取組内容別の取扱量削減目標(t)

使用量及び使用計画の見直し(870t)	低毒性の化学物質への代替え(405t)
設備改善を含む使用工程の効率化(271t)	

また、排出量の上位3業種の排出削減に向けた取組状況は次のとおりです。「排出量等が多量であるため」と「有害性が高い物質であるため」が主要な排出削減の目標の設定理由となっており、「輸送用機械器具製造業」では「使用量及び使用計画の見直し」等、「ゴム製品製造業」、「化学工業」では「設備改善を含む使用工程の効率化」等により、排出量の削減に取り組むことが示されました(目標の設定理由と取組内容については[参考]を参照)。

ア 輸送用機械器具製造業(平成17年度の排出削減目標の合計: 17.4t/年)

用途	排出削減の目標設定理由	取組内容	H17削減量	
			kg/年	%
溶剤・塗料 など	排出量等が多量であるため	使用量及び使用計画の見直し	11,397	65.5
		設備改善を含む使用工程の効率化	604	3.5
		その他	86	0.5
	有害性が高い物質であるため	低毒性の化学物質への代替え	3,690	21.2
	規制対応	設備改善を含む使用工程の効率化	60	0.3
	その他	使用量及び使用計画の見直し	1,450	8.3
その他			121	0.7
合計			17,404	100

イ ゴム製品製造業(平成17年度の排出削減目標の合計: 273t/年)

用途	排出削減の目標設定理由	取組内容	H17削減量	
			kg/年	%
溶剤・塗料 など	排出量等が多量であるため	設備改善を含む使用工程の効率化	270,000	99.1
		使用量及び使用計画の見直し	400	0.1
洗浄・界面 活性剤など	排出量等が多量であるため	設備改善を含む使用工程の効率化	1,000	0.4
	有害性が高い物質であるため	設備改善を含む使用工程の効率化	400	0.1
ゴム・プラス チックなど	有害性が高い物質であるため	その他	600	0.2
	規制対応	低毒性の化学物質への代替え	130	0.05
合計			272,530	100

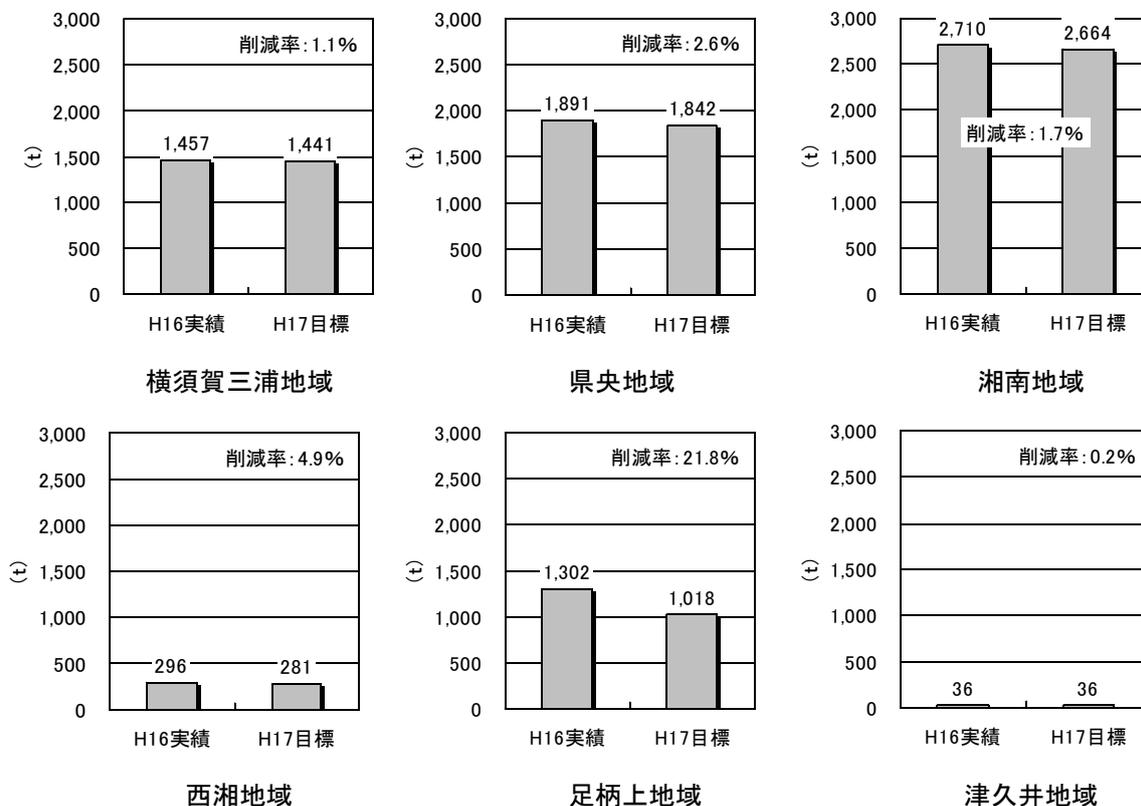
ウ 化学工業(平成17年度の排出削減目標の合計: 34.7t/年)

用途	排出削減の目標設定理由	取組内容	H17削減量	
			kg/年	%
溶剤・塗料 など	排出量等が多量であるため	使用量及び使用計画の見直し	4,000	11.5
		設備改善を含む使用工程の効率化	10,080	29.1
		公害防止設備の設置・改善	1,669	4.8
		管理体制の強化	9	0.03
	有害性が高い物質であるため	低毒性の化学物質への代替え	5,537	16.0
		公害防止設備の設置・改善	250	0.7
	規制対応	公害防止設備の設置・改善	4,228	12.2
		管理体制の強化	19	0.05
ゴム・プラス チックなど	有害性が高い物質であるため	設備改善を含む使用工程の効率化	32	0.09
	規制対応	設備改善を含む使用工程の効率化	8,700	25.1
その他			167	0.5
合計			34,691	100

### (5) 地域※1別の排出状況

県域で最も排出量の多い湘南地域での排出量の削減は、率で2%、量で46tで、次に排出量の多い県央地域では、率で3%、量で49tとなっています。また、最も削減量が多いのは足柄上地域で、率で22%、量で284tでした。

※1 地域県政総合センター所管区域別。



### (参考)平成16年度市町村別排出状況

